



ハチの巣はどうして六角形なの

丸い巣あな作りが、六角形に

ハチのメスは1ぴきで巣を作りはじめます。口と触角を使って丸い部屋を作ります。その部屋にくっつけて、まったく同じ大きさの丸い部屋を、作っていきます。最初の部屋のまわりに、同じように丸い部屋を作っていくと、ちょうど六つの部屋がくっつきます。そして、最初の部屋は、外側の六つの部屋と、それぞれかべの一部を共通で使っていて、六方向から引っぱられ、六角形になります。きれいな六角形にするには、同じ大きさの正確な丸い部屋を続けて作ることが、大切になってきます。

六角形は空間のむだがなく、材料が少なくてすむ

スズメバチ、ミツバチ、アシナガバチは、切り口が六角形の巣を作ります。六角形なら、となりの部屋と、仕切りのかべが共通になり、材料が、いちばん少なくてすむのです。

巣作りに大切な触角

ミツバチの巣作りでは、わかいはたらきバチの、腹部から出てくる口を使う。足で口を口に押し、だ液腺から出る口をとく成分でやわらかくして、巣を作ります。ミツバチの触角の先を切ってしまうと、巣のかべの厚さが、めちゃめちゃになることから、触角が巣作りに大切なはたらきをしていることがわかります。(監修・中山 周平)

